

平成19年度八重山群島病害虫発生予報第7号(10月予報)

10月の気象予報

向こう1か月間の平均気温、降水量、日照時間の予想確率(%)

	平均気温	降水量	日照時間
高い(多い)	50	30	40
平年並	30	30	30
低い(少ない)	20	40	30

(平成19年9月21日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

地点別の平均値

要素	平均気温()	最高気温()	最低気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島(石垣島)	25.6	28.4	23.5	183.2	157.5

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

10月の発生予報および防除上の注意事項

向こう1か月間における農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

八重山群島

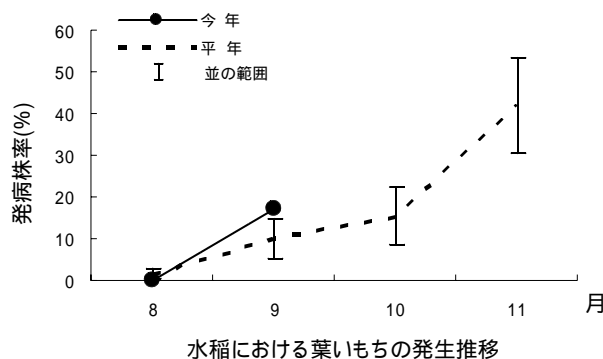
1 水稲(2期作)

(1)いもち病

発生程度 : 並

予報の根拠

- 9月下旬の調査の結果、葉いもちの発病株率は17.3%(前年20.2%、平年10.2%)と平年よりやや高かった。
- 気象予報によると向こう1か月の降水量は平年より少ない確率が40%の見込みで、本病の発生は平年並で推移すると考えられる。



防除上注意すべき事項

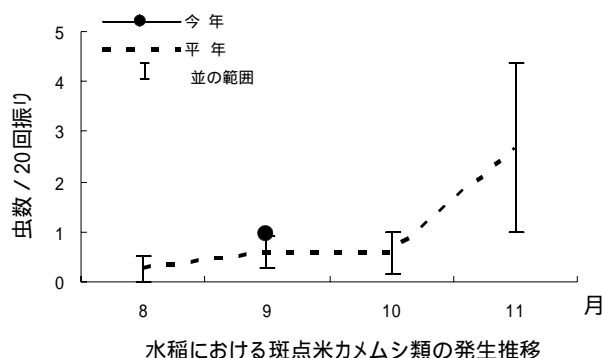
- 窒素肥料の多用は本病の発生を助長するので、適切な肥培管理を行う。
- 稲体の耐病性は穂ばらみ期～出穂期に最も弱く、葉いもちから穂いもちへの感染拡大を防ぐためにも、この時期の防除に重点を置く。

(2) 斑点米カメムシ類

発生程度 : やや多

予報の根拠

- 9月下旬の調査の結果、捕虫網によるすくい採り虫数は20回振り当たり0.9頭(前年1.7頭、平年0.6頭)と平年並であった。
- 気象予報によると向こう1か月の平均気温は平年より高い確率が50%の見込みで、本類の発生が助長されやすい。



防除上注意すべき事項

- カメムシ類は畦畔や農道の雑草地に生息しており、出穂後水田内に移動するため、定期的な除草などにより密度を抑える。
- 出穂期前後の除草はカメムシ類が水田に移動するので極力控え、やむを得ず水田周辺を除草する場合は、刈り取り後直ちに薬剤防除を実施する。
- 薬剤防除は、基本として穂揃期とその7～10日後の2回実施する。

2 さとうきび

メイチュウ類の防除対策

- 9月下旬の調査の結果、新植圃場での芯枯れ茎率は0.2%(前年0.1%、平年0.6%)と平年よりやや低かった。
- 9月のカンシャシクイハマキ合成性フェロモンによるトラップ当たりの誘殺数は31.0頭(前年51.0頭、平年21.9頭)と平年並であった。
- ふ化した幼虫は、夏植えされた苗の葉裏および葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- 夏植えの生育初期の加害による芯枯れ防止をねらい、食入初期の幼虫を対象にした薬剤防除を行う。
- 植付時および培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選定し、均一に施用する。

野その防除対策

- 9月下旬の調査の結果、被害茎率は0.1%(前年0.1%以下、平年0.3%)と平年並であった。
- 台風12号により倒伏被害が発生した圃場や例年食害が多く見られる地域では、薬剤防除を徹底する。
- 地域で一斉に防除することで、より防除効果が高まる。

3 マンゴー

栄養生長期におけるチャノキイロアザミウマの防除対策

- 9月下旬の調査の結果、一部の施設でチャノキイロアザミウマが多発していた。
- この時期の不要な新梢は、本種の発生源となるため、ビニール袋に入れるなどして、施設外に持ち出し処分する。
- 本種は雨に弱いことから、灌水を兼ねて動噴で洗い流すと密度低減につながる。
- 1回の薬剤で効果が出にくい場合は、1週間程度の間隔で数回行う。
- 薬剤抵抗性が発達しやすいことから、同系統薬剤の連用を避ける。

4 iga(施設)

タバコナジラミ(シルバーリーフコナジラミ)の防除対策

- a 9月下旬の調査の結果、葉当たり成虫数は0.1頭以下(例年0.3頭)と例年よりやや少なかったが、一部の施設で多発生が見られた。
- b 多発すると、排泄された甘露にすす病が発生し、光合成を阻害したり果実の汚れを引き起こす。また、防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。
- c 摘葉等による残渣は本種の発生源となるので、ビニール袋に入れるなどして施設外に持ち出し処分する。
- d 前作の残渣は施設内で枯らし、本種の発生が無くなってから施設外に持ち出し処分する。
- e 周辺雑草は発生源となるので、こまめに除草する。
- f 平成19年度病害虫発生予報第6号(9月予報)7～8頁参照。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

本 所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880、098-886-0227 FAX 098-884-9119
北 部 駐 在	〒905-0012 名護市名護4605-3(農業研究センター名護支所内) TEL 0980-51-1537 FAX 0980-51-1538
宮 古 駐 在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40 TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八 重 山 駐 在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6 TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157